

平成 28 年 4 月 28 日
東日本高速道路株式会社
中日本高速道路株式会社
西日本高速道路株式会社

来年度までに 150 km を超えるガソリンスタンド空白区間をゼロにします

NEXCO 東日本／中日本／西日本は、高速道路上でのガソリンスタンド（GS）空白区間における燃料切れを防止するため、国土交通省と連携し、来年度までに 150 km を超える全ての GS 空白区間を解消することを目指すこととしました。まずは、7 月中旬までに、5 つのインターチェンジ（IC）において、路外給油サービス（※）を実施します。来年度は、これらの効果検証を行いつつ、実施箇所を拡大していきます。

なお、この取り組みは、民営化後 10 年を迎えた高速道路機構・会社のこれまでの成果・課題や今後必要な取組みについて、国土交通省がとりまとめた「高速道路機構・会社の業務点検」（平成 27 年 7 月）を踏まえ、検討してきたものです。

※ 指定 GS での給油のため、指定 IC から一時退出した場合には、目的地まで連続して走行した場合と同額とする料金調整を実施（長距離通減は継続）（ETC 車限定（一部 IC を除く。））

○路外給油サービス対象 IC

道路名	指定 IC	実施機関	備考
磐越自動車道	新津 IC	NEXCO 東日本	※ 1
東海北陸自動車道	福光 IC	NEXCO 中日本	※ 1
道東自動車道	十勝清水 IC	NEXCO 東日本	※ 2
中国自動車道	吉和 IC、六日市 IC	NEXCO 西日本	※ 3

※ 1 社会実験の開始時期は、平成 28 年 7 月中旬を目途にしていますが、詳細は改めてお知らせします。

※ 2 給油のため、一時退出した場合にも、料金が変わらない旨、周知します（ETC 車、非 ETC 車も可）。

※ 3 平成 27 年 4 月 20 日から社会実験を実施しています。

ガソリンスタンド空白区間の解消について

別紙

